

1-02 建築計画概要

佐川町新文化拠点（仮称）は蔵書数10万冊の図書館と学び合いのサイクルを充実するための交流スペースを併設した施設です。

まちの活動のあいだをつなぐため、情報のタッチポイントとなる様々な「スタジオ」を配置し、情報への導き手となる「ガイド」の方々とともに、情報のコンテナとなる「ミドルメディア」を用いて、未来のさかわを育んでいく「学び合いの広場」を目指します。



① エントランス

エントランスに入ると中庭越しに図書閲覧スペースが見えます。新文化拠点での活動展示や中庭や前庭と一緒に利用が出来ます。



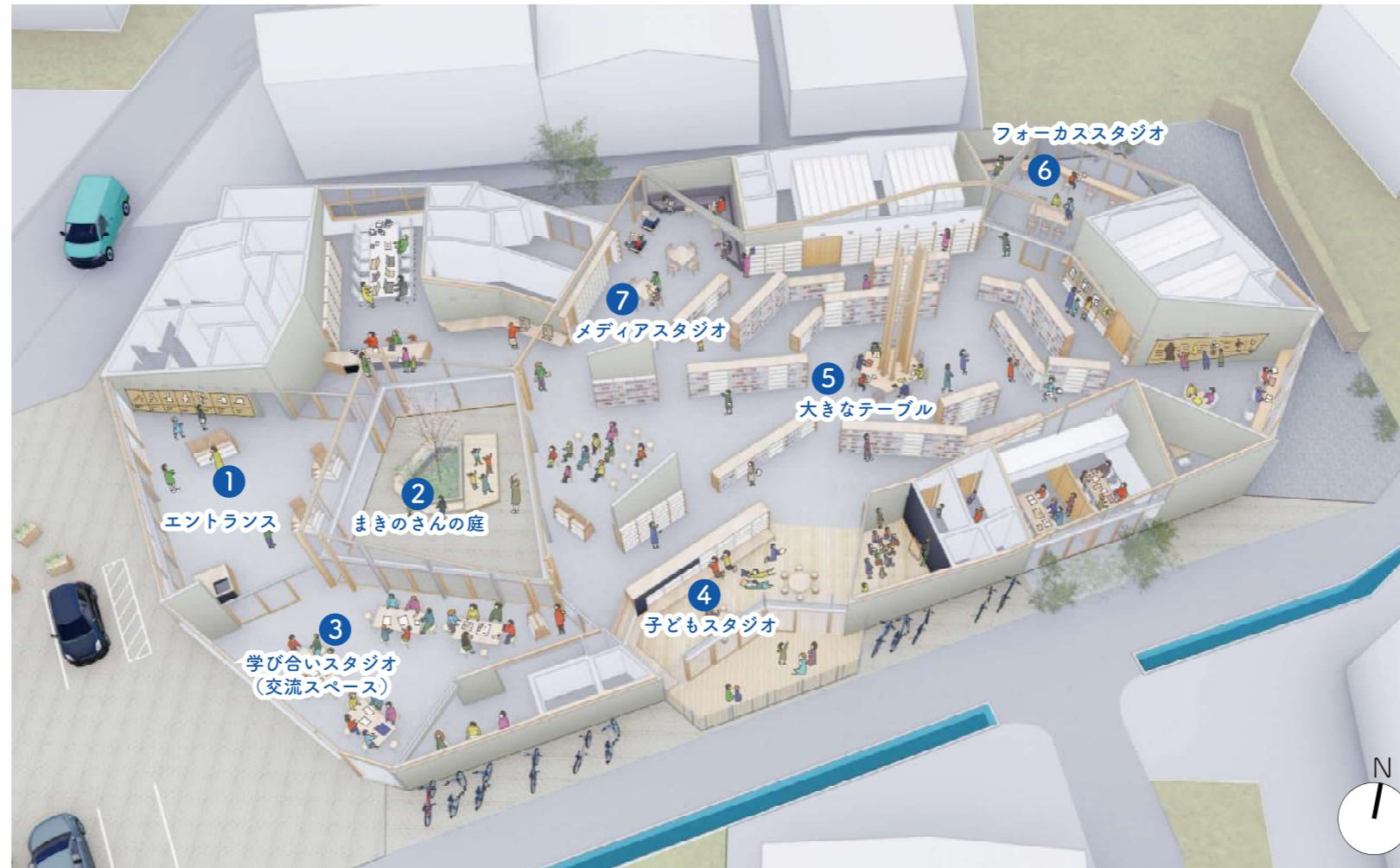
② 中庭

植物のまち佐川にふさわしい植物を通した学びが出来る中庭。学び合いスタジオと連携して様々な活動に利用します。



③ 学び合いスタジオ（交流スペース）

佐川のまちの様々な活動や人が学び合うスタジオ。活動の発表やワークショップ等図書館の情報を用いた様々な活動ができます。またそれらの活動をまちの内外に発信することができます。



建物のイメージ

佐川町新文化拠点（仮称）は山並みに呼応する一枚のおおらかな屋根におおわれた学び合いの場です。屋根を支える大黒柱のもとにひとが集い、ともに学び合う誰もが訪れるこことできる広場をつくります。



上から見たイメージ



モバイル本棚

図書館内を行き来することで、スタジオ活動に使ったり、佐川町内外のガイドが選定した書籍などを展示できるモバイル本棚。



⑦ メディアスタジオ

雑誌や新聞、佐川町の情報など新しい情報が得られ、対面朗読室を活かしてSNSなどで佐川町から世界へ発信できるメディアスタジオ。



⑤ 大黒柱のもとの読書テーブル

高知県の樹木を束にした大黒柱のもと、みんなで読書ができる大きなテーブル。



⑥ フォーカススタジオ

学習やテレワークなど集中して本を読んだり作業ができるスタジオ。